

ROAD TO TOKYO 2020

オリンピック陸上競技・男子100m予選のちょうど1年前となる8月1日、為末大氏の指導によるトレーニングで汗を流す選手たち。今回の訪問の感想と、オリンピックへの思いを聞きました。



タシ・デンドウツプ 選手(21歳)
2018年ブータン陸上全国大会100m優勝

為末さんによるトレーニングは、本当に楽しかったです。オリンピックまであと1年ですが、皆さんの期待に応えられるように頑張ります。

トレーニングだけでなく、ホームステイを通じてホストファミリーとも楽しい時間を過ごすことができました。また、文化交流イベントでは、日本文化について新しいことをたくさん学ぶことができました。大勢の日本人の友達をつくることができ、うれしく思います。私たちをサポートしていただき、このような機会を与えてくださった皆さんに感謝します。

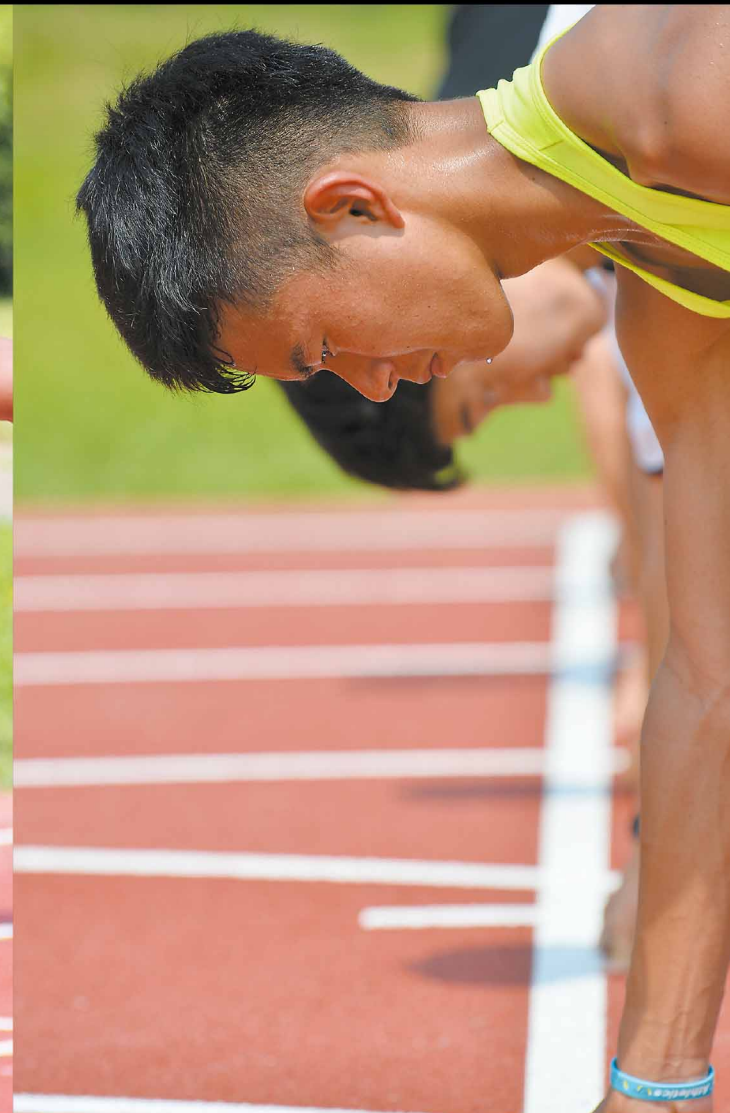


ディネシュ・クマー 選手(23歳)
2018年ブータン陸上全国大会100m準優勝

今回のトレーニングはとても効果的なもので、滞在中のスケジュールもとても充実していました。トレーニングを通じて、新しいスプリント・ドリル※や技術を学ぶことができました。ここで得た経験を生かして、帰国後も練習を続け、オリンピックに出場できるようベストを尽くします。

トレーニング以外にも、寄居町役場への訪問やホームステイなど、興味深く貴重な経験をたくさんすることができました。

※速く走るために特化したさまざまなウォーミングアップ



キンレー・デンドウツプ 選手(16歳)

為末さんとのトレーニングはとても楽しく、効果的なものばかりで、技術面の多くを改善することができました。特にスプリント・ドリルを通じて、たくさんの新しいアイデアを得ることができたのは自分の中で大きな経験となりました。帰国後は、いろいろな大会に出場してさらに経験を積み、オリンピック出場を目指したいと思います。

寄居町では、ほかにホームステイや日本文化体験などの文化交流ができ、楽しかったです。ありがとうございました。

特集

ブータン王国 陸上オリンピックチーム

来町



町では、ブータン王国陸上オリンピックチームのホストタウンとして、同国とさまざまな交流や関連事業を行っています。

東京オリンピックを1年後に控えた7月30日～8月3日に、ブータンの陸上オリンピックチームが来町しました。メンバーは、陸上選手3人、コーチのシゲル・ツェワンさん、ツェティム・イゼーさん、ブータンオリンピック委員会のツェリン・デマさんの6人です。

選手たちは、三ヶ山緑地公園で為末大氏の指導によるトレーニングを行ったほか、弓道体験やブータン料理体験などで、町民の皆さんと交流を行いました。

町では今後も、ブータンとの交流を深め、東京2020オリンピックに向けて陸上オリンピックチームをサポートしていきます。皆さんのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

※この事業は、埼玉県ふるさと創造資金の補助を受けています。

町 総合政策課 ☎ 581・2121内線462)

BHUTAN × YORII

